

平成 30 年 5 月 17 日現在

機関番号：13102

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15K02336

研究課題名(和文) 環太平洋文学におけるエコ・コスモポリタニズム詩学の生成と発展に関する基礎研究

研究課題名(英文) The Genesis and its development of Eco-cosmopolitanism poetics in the Pacific-rim Literature

研究代表者

高橋 綾子 (TAKAHASHI, Ayako)

長岡技術科学大学・工学研究科・准教授

研究者番号：30435416

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,300,000円

研究成果の概要(和文)：研究成果として、単著『ゲーリー・スナイダーを読む』を思潮社から2018年3月に出版した。総ページは303頁、新たにエコフェミニズムとデプスエコロジーの視点から焦点を当てた点に新規性がある。共著本Thoreau in the 21st Century: Perspectives From Japanとして日本ソロー学会編集で2017年10月に刊行。“Ecopoetics and Japanese Poetry”台湾での比較文学の国際会議で“Haiga and its Development”を司会兼パネリストとして発表した。

研究成果の概要(英文)：As my researching results on Eco-cosmopolitanism poetics in the pacific-rim literature, I could publish titled "Reading Gary Snyder" (Shichosha) in March 2018. So far, Gary Snyder studies have mainly done by male researchers, my research has newly focused approaches, Eco-feminism and Depth-ecology.

In October, 2017, a joint book titled "Thoreau in the 21st Century: Perspectives from Japan" was published by The Thoreau society of Japan. My article, "Anne Waldman and Thoreau's Civil Disobedience" is included. In Symposium, "Translations and Transformations: Modern and Contemporary Haiku Lineage in Japanese and English Poems," I made a presentation of "Haiga and its Development" in The Annual conference of The International Society for Cultural Expression in May, 2017. I made a presentation titled "Ecopoetics and Japanese Poetry" in The Twelfth Quadrennial International Comparative Literature Conference held in Tamkang University, Taiwan, December 15th, 2017.

研究分野：英語・英語圏文学

キーワード：ゲーリー・スナイダー 環境詩学 Ecopoetics エコフェミニズム エココスモポリタニズム 英語俳句

1. 研究開始当初の背景

「グローバリゼーション」の概念は、人文学や社会科学において現代政治、社会、文化理論を巡る中心用語となり、これまでに用いられてきた「ポストモダニズム」や「ポストコロニアリズム」のような同時代の理論に次第にとってかわるようになってきている。「グローバリゼーション」の研究が、社会科学や人文学から過度に超国家主義や国際主義を強調しすぎると危惧される中で、地方と国家を越えて所属する想像力の体系として、「コスモポリタニズム」が再び注目されている。さて、アメリカ文学において東洋への関心はソロー、エマーソン、ホイットマンから続く伝統であるが、特にエズラ・パウンドに代表されるモダニズム以後顕著であった。ビートジェネレーションを代表する詩人ゲーリー・スナイダーの作品は、パウンドやレクスロスの伝統を受け、東洋への関心がさらに強まったグローバルな作品であり、同時に環太平洋文学の代表作とも言える。本研究では、環太平洋文学研究において、ゲーリー・スナイダーをはじめとする地方主義とコスモポリタニズムの双方を有する環境的想像力の体系を基軸とし、これをエコ・コスモポリタニズムの詩学と定義し、アメリカの文化社会と照らし合わせながら検証し、同詩学の生成と発展に関する基礎研究を行う。

2. 研究の目的

本研究では、環太平洋文学研究において、ゲーリー・スナイダーをはじめとする、地方主義と世界的視座（コスモポリタニズム）の双方を融合する環境的想像力の体系を基軸とし、これをエコ・コスモポリタニズムの詩学と定義し、アメリカの文化社会と照らし合わせながら検証し、同詩学の生成と発展に関する基礎研究を行う。具体的には、ゲーリー・スナイダーを中心として、環太平洋文学に所属する詩人、ウェンデル・ベリー、ロバート・ハス、W.S.マーウィン、チェイス・ツウェツェル、ジョアン・カイガー、アン・ウォルドマン、ジェーン・ハーシュフィールドを取り上げ、エコ・コスモポリタニズムの生成と発展を分析検証する。「エコ・コスモポリタニズムの詩学の生成と発展」に関する成果を国際シンポジウムで研究発表し、著名な学術誌に投稿し、研究成果として世界に公表する。

3. 研究の方法

研究目的であるエコ・コスモポリタニズムの詩学の生成と発展を検証するための研究方法は、エコ・コスモポリタニズムの詩学に基づいて、8名の詩人の作品の中から選詩を行い、それらを生成期と発展期に分類し、その特徴を分析、検証を行う。研究成果は、成果出版するとともに、台湾淡江大学(Tamkang University)で行われる国際会議にて、発表するとともに、淡江大学の英文雑誌に投稿する。

4. 研究成果

1. 高橋綾子 単著『ゲーリー・スナイダーを読む』思潮社 2018年3月
2. 高橋綾子 「俳画とその展開」表現文化研究、新潟大学大学院現代文化研究科、第14、pp.29-35、2018年3月
3. TAKAHASHI, Ayako. “Anne Waldman and Thoreau’s Civil Disobedience” 『ヘンリー・ソロー英文論集』共著 日本ソロー学会編集、金星堂（編集・印刷中）2018年10月。
4. TAKAHASHI, Ayako “Ecopoetics and Japanese Poetry” The Twelfth Quadrennial International Comparative Literature Conference, Tamkang University, Taiwan, December 15th, 2017.
5. TAKAHASHI, Ayako 招待講演 Symposium: Translations and Transformations: Modern and Contemporary Haiku Lineage in Japanese and English Poems, “Haiga and its Development” The Annual conference of The International Society for Cultural Expression. Nihon University, Mishima, May 13th, 2017.
6. TAKAHASHI, Ayako 招待講演 “Ecopoetics of Gary Snyder’s *Mountains Rivers Without End*,” 2016 International Symposium on Literature and Environment Conference: International Symposium on Sustainable Urban Forest and Environmental Humanities, Dongguk University, Korea November 4th, 2016.
7. 高橋綾子 論文「ゲーリー・スナイダーの『終わりなき山河』における表象の相関」、査読有、『シルフェ』、55号、pp. 21-36 シルフェ英語英米文学会、平成28年。
8. TAKAHASHI, Ayako 招待講演 “Haiku and Basho Reception,” International Workshop

for American Literature. (アメリカ, Dominican University of California) March 15th, 2016.

9. TAKAHASHI, Ayako, 招待講演 “Haiku Reception”, Haiku in Contemporary Practice(Roundtable) 20th Asian Studies Conference Japan, 東京都 国際基督教大, July, 2016.

10. TAKAHASHI, Ayako, HALEBSKY, Judy 共著論文 “Haiku Reception and Practice in the North American Contemporary Poetry,” 査読有, *Expression*, NO. 12, pp151-165, July, 2016.

11. TAKAHASHI, Ayako, 招待講演 “Gary Snyder’s Buddhism Interpretation: Dogen and Bioregionalism,” International Symposium on Eco-poetics and Ekphrasis and Gary Snyder Studies, 中国, 湖南大学, November 15th, 2015.

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 3 件)

〔学会発表〕(計 6 件)

〔図書〕(計 2 件)

〔産業財産権〕

出願状況 (計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況 (計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1)研究代表者
(高橋綾子)

研究者番号：30435416

(2)研究分担者
()

研究者番号：

(3)連携研究者 ()

研究者番号：

(4)研究協力者 ()